

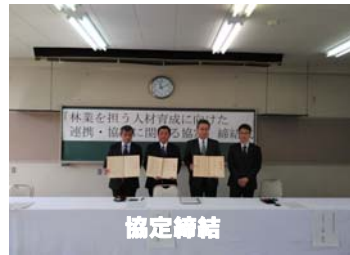
近畿中国森林管理局

# 広島北部森林管理署 ひろほく通信

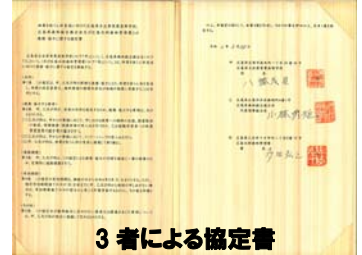
## 人材育成連携協定を締結しました

林業の成長産業化と森林の適切な経営管理を実現するためには、その担い手となる林業従事者の確保・育成が喫緊の課題となっています。

広島北部森林管理署では、令和元年度から新たな民有林支援の取組として、県立庄原実業高校環境工学科の生徒を対象にした森林環境教育に取り組んでいますが、この取組をより効果的なものとして庄原実業高校に提供していくため、3月24日、**広島県森林組合連合会、庄原実業高校と広島北部森林管理署の間で「人材育成連携協定」**を締結しました。今回の協定締結により、実際の作業現場での実習や最新のデータの提供など、庄原実業高校のニーズに応えることができるとなり、これらの活動を通じて広島県内における林業担い手の育成に貢献していきたいと考えています。



協定締結



3者による協定書

林業を担う人材育成に向けた広島県立庄原実業高等学校、広島県森林組合連合会 及び広島北部森林管理署の連携・協力に関する協定について

〇 広島北部森林管理署では、新たな民有林支援の一環として、得手の担い手である林業を学ぶ広島県立庄原実業高等学校環境工学科の生徒を対象とした「森林環境教育(出前講座)」を今年度から実施している。

〇 専門教科を構成する分野について、継続的に取り組むことで、2年主からの2年間、学期ごとに1回、合計6回の「森林環境教育(出前講座)」を行う。

〇 この「森林環境教育(出前講座)」を、広島県森林組合連合会及び広島北部森林管理署が連携して取り組むことで、より効果的な「森林環境教育(出前講座)」を広島県立庄原実業高等学校環境工学科に提供する。また、広島県森林組合連合会は、今年度から広島県の森林環境課(現国控)を活用した人材育成に取り組んでおり、これらとの組み合わせで支援を提供する。

〇 国有林森林管理署と広島県森林組合連合会が連携した人材育成への取組は、全国初の取組である。

■ 人材育成連携協定のイメージ

■ 森林環境教育(出前講座)のプログラム

■ これまでの森林環境教育(出前講座)



感謝状の贈呈



記念写真



びほく・森のサポーターズと記念写真



田丸会長からの挨拶

## びほく・森のサポーターズに感謝状を贈呈しました

3月26日、広島北部森林管理署会議室において、永年森林環境教育に携わっていただいた「**びほく・森のサポーターズ**」に感謝状を署長から贈呈しました。

びほく・森のサポーターズは、過去に署主催で実施した「森林ボランティア養成講座」の修了生を中心に平成19年3月に結成され、主に広島北部森林管理署が行う森林環境教育や「社会貢献の森(国有林)でのアカマツ林再生活動において様々な形で国有林野事業をサポートして頂きました。しかし、メンバーの高齢化などにより会員の減少が続き、令和2年3月31日12年間に及ぶ活動を幕を閉じるにことになりました。

びほく・森のサポーターズの永年の活動に謝意を表します。サポーターズの皆さん大変ご苦労さまでした。そしてありがとうございました。

## 民国連携の実現に向けた現地検討会を行いました

広島北部森林管理署では、2月27日京山国有林、大日南山国有林と隣接する民有林、県営林において協調施業、協調販売などの民国連携の実現に向けた現地検討会を行いました。検討会には、広島県林業課、東部農林水産事務所、神石高原町、神石郡森林組合と広島北部森林管理署から担当者ら12名が参加しました。今後、連携して森林施業を進めていくため必要な課題は何であるかの視点で、国有林、民有林、県営林を全員で踏査しました。その結果、国有林、民有林、県営林それぞれで開設している既存の作業路を連結させ、循環的な路網に再整備していくこと、各種事業計画の情報共有を更に緊密に図っていくことや、民国連携の実現に向けスピーディーな調整機関が必要であるとの新たな課題も見つかりました。



現地を全員で踏査しました



林分の蓄積や今後の施業を検討



既存の作業道



踏査した林分の状況(一部)



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署  
TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156  
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

